

〈対前年度比 9.3%増〉

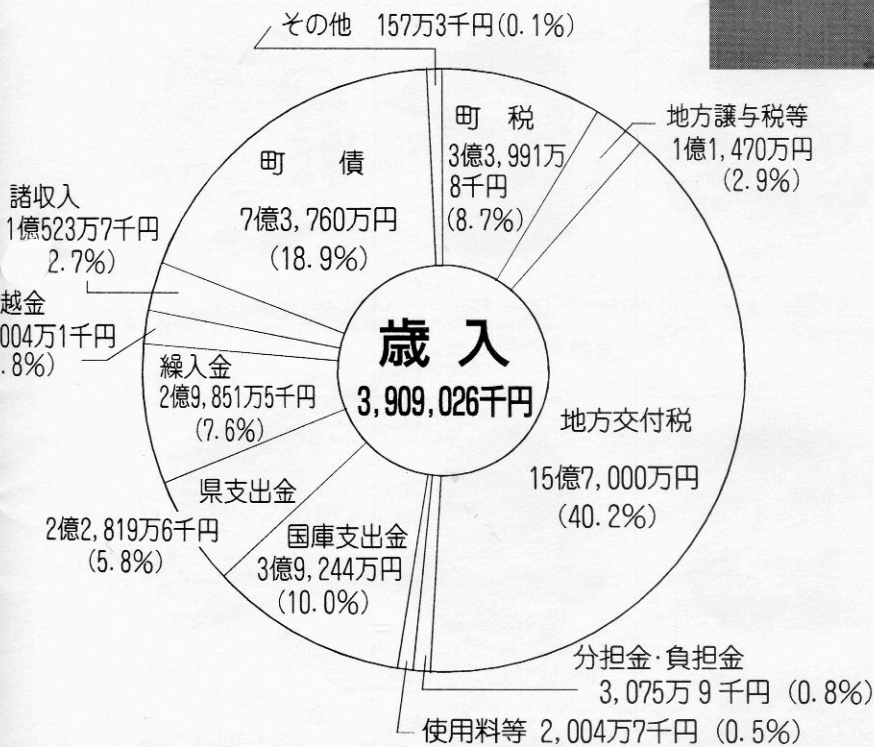
でスタート



魅力ある

日置町の顔を

つくるために



予算編成にあたって

日置町長 江原 清

未曾有の大災害をひきおこした阪神・淡路大震災から二ヶ月余を経過し、復旧に向けて懸命の努力が続けられているところではありますが、この間町内各界各層より沢山の善意の金品が寄せられ、本当に心暖まる思いが致しており、衷心よりお礼を申し上げます。

さて、本年は戦後五十年の節目の年にあたり、あらためて多くの戦争犠牲者の御霊に誓って、平和追求の意識を育てていくことの責務の重大性を痛感するものであり、併せて、あの焼け野原から今や世界を矚目せしめるまでに発展させた先達の粒粒辛苦に、深い敬意を表する次第であります。

今日、わが国の経済は、ゆるやかながら回復の軌道をたどっており、景気の回復基調が必ずしも税収に反映するところにはまだ及んでおらず、国、地方を通じて依然として厳しい財政事情にあります。とりわけ本町のような農山漁村は、過疎化、高齢化の進行に加えガットの農業合意に伴う外圧等、従来に増して困難な局面に立たされております。ただ農山漁村は、食糧生産、自然環境の保全、緑や水の供給源として極めて重要な役割を果たしていることは周知の事実であります。私は「地方は日本の根っこである。根が枯れば、都市の花も咲かず、国土の発展もない」という地方人としての誇りと固い信念にもとづき、これからは農林漁業を始めとする産業の振興、高齢者保健福祉施策の一層の充実、次代を担う子ども達を健やかに育てる環境づくり、若者の定住にとって欠かすことのできない生活環境施設の整備など、山積する諸課題に全力で取り組む決意であります。

本年度の予算概要は別掲のとおりですが、一般会計予算については前年度当初比九・三%の増、特別会計を含めた総計においても伸び率五・五%と、積極型の予算と致しております。